

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.181

■ 2023年度サプライチェーン基盤強化支援事業
「現場改善」のための基礎講座
～5Sの再挑戦及び現場における3つの管理～

次世代自動車センター浜松では、2023年度に新たに取り組む「サプライチェーン基盤強化支援事業」の一環として、小規模部品メーカーを対象とした現場改善支援を企画しています。

小規模部品メーカーにとっても、生き残りをかけた次世代自動車によるビジネス変化に対応していく必要があります。企業体質の強化や客先への提案力の向上を図るため、「現場改善支援」として、当センターの望月センター長と眞崎コーディネーターが講師となって、5Sの再挑戦や現場における生産管理・在庫管理・品質管理を内容とする講座を開催しました。

- 日 時 : 令和5年5月17日(水) 13時45分～16時30分
5月19日(金) 13時45分～16時30分

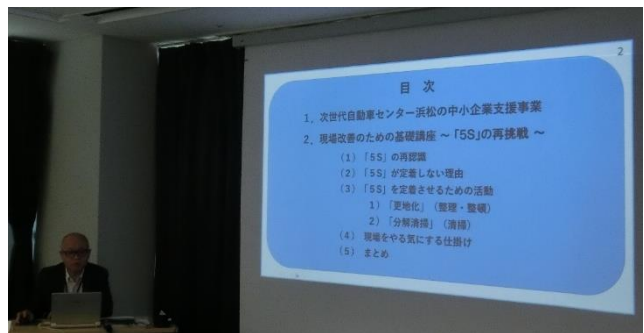
■ 場 所 : (公財)浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

- 参加者 : (5月17日) 11社/19名
(5月19日) 8社/11名

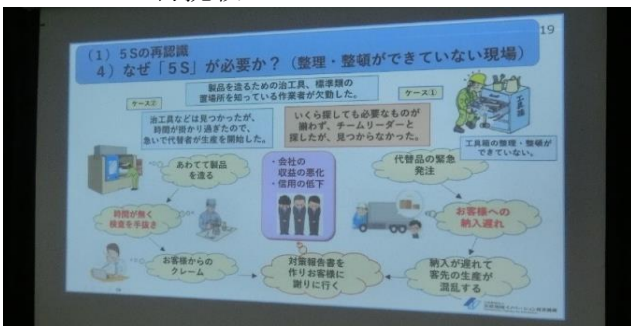
<開講挨拶>



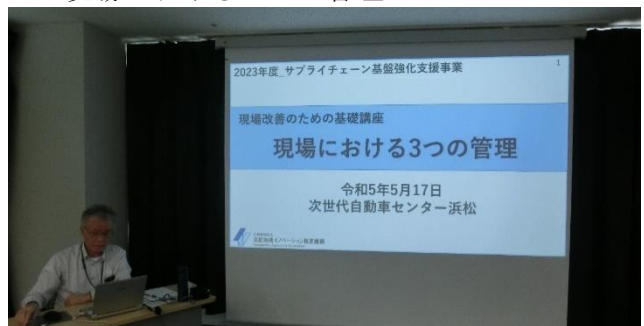
<5Sの再挑戦>



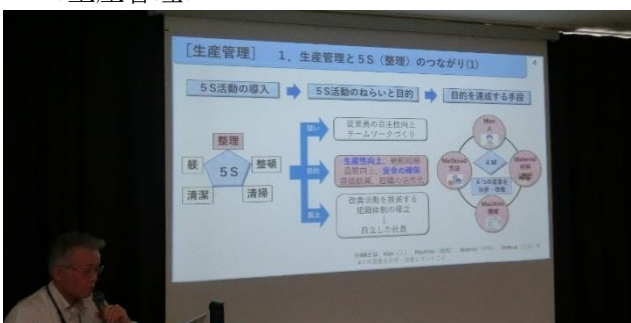
<5Sの再挑戦>



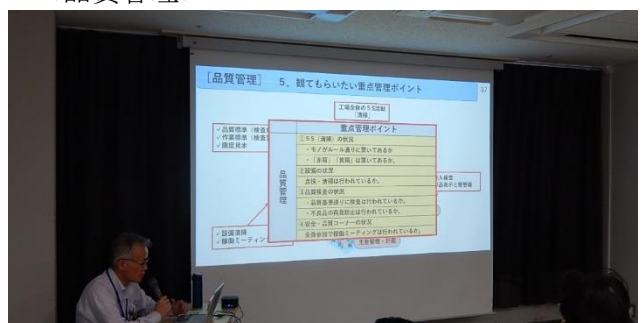
<現場における3つの管理>



<生産管理>



<品質管理>



【参加者の声】

< 5 Sの再挑戦 >

- ・ 5 Sを定着させるための方法として更地化する、分解清掃をする、この2点の大切さがわかった。
- ・ 5 Sの重要性を再確認できた。
- ・ 「更地化」と「分解清掃」という5 S定着のための具体的な方法が示されていた。
- ・ 現場に即したお話で、良く理解できた。
- ・ 改めて清掃や躰の定義について見直しできた。ボトムアップで維持させることの活動に重点を置いていきたい。
- ・ 5 Sを徹底することで生産性を上げることができる。
- ・ 5 Sの効果、ロスコストマネジメントについて、経営に与えるプラス効果を再認識。5 Sが定着しない理由にも、上位者からの指示の曖昧さなど心当たりがあり気づきを得られた。
- ・ 5 Sについての取り組み方と継続についての話が参考になった。
- ・ 常に職場を綺麗にしているつもりではあるが、作業効率においては、今以上にムダを省いて作業できるのではないかと改めて考えさせられた。

< 現場における3つの管理 >

- ・ 生産計画における計画と実績での管理のやり方が参考になった。
- ・ 作業手順、動線について参考になった。
- ・ 現場における管理と5 Sが、とても大切な関係であることがよくわかった。
- ・ 標準作業の把握、タクトタイムの計測等をしっかり行い、ムダを削減することが重要。
- ・ 当社はオーダーメイドの設備製作のため、生産計画が難しいが、その中で作業標準化できるものに対して参考になった。
- ・ 先入れ先出しの具体例が参考になったので、弊社でも取り入れてみたいと思った。
- ・ 生産管理、在庫管理、品質管理それぞれの5 Sについて改めて整理することができた。現状、自社でできていない部分もあるので参考にさせていただく。
- ・ 生産計画の立て方や見える化の部分が弊社にはまだ足りていない部分があり、改善が必要だと思った。
- ・ 改めてP D C Aサイクルを回すことの重要性を感じた。
- ・ 品質管理（清掃）については今後見直ししたい。
- ・ ミーティングも勿論ではあるが、現場の全員が同じ考えを持ち、誰が担当しても同じ作業ができるように書類での見える化も大切であると思った。